

第 36 回 インフォーマル ミーティング

日本核医学技術学会 関東地方会 会 長 濱崎 千裕
学術委員長 立木 一博

皆様におかれましてはご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。
今回のテーマは

「 SPECT 標準化と内用療法 」 です。

がん対策基本法（平成 18 年法律第 98 号）に基づき、策定されたがん対策推進基本計画は「医療の均てん化」を目指しています。「均てん(均霑)」とは、「誰もが等しく利益を享受できる」という意味です。「医療の均てん化」とは、都会においても地方においてもがんの標準的な専門医療を受けることが出来る様、医療技術などの格差の是正を図ることを目指しています。2015 年、国会において RI 内用療法に関連する質問主意書が提出され、これに対し「RI 内用療法は重点的に取り組むべき課題である」と政府は答弁しました。2016 年 3 月には Ra-223 を利用した骨転移を有する去勢抵抗性前立腺癌(CRPC)の治療薬が承認され、2017 年には多くの施設で治療を行う条件が整えられました。

今回のインフォーマルミーティングは、今後も研究、発展が大いに期待される「RI 内用療法」と、治療の効果判定および予測を技術的に担保する「SPECT 標準化」をテーマにしました。ガンマカメラ製造メーカーからの最新情報を交えつつ、2018 年に核医学が歩む道を皆様と共に見定めたいと考えております。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

関東地方会 学術委員会

日時

2018 年 1 月 6 日（土） 15:00～18:05

会場

東邦大学医療センター大橋病院
教育棟 1F 臨床講堂

参加費

会 員：1000 円

非会員：2000 円

(当日入会された場合は 1000 円)

認定単位

日本核医学技術学会専門技術者 5 点

日本核医学専門技師認定機構 10 点



問い合わせ先

tattsun@med.toho-u.ac.jp 立木(たちき)

第 36 回 インフォーマル ミーティング

日時 2018 年 1 月 6 日 (土) 15:00~18:05

会場 東邦大学医療センター大橋病院 (東京都目黒区大橋 2-17-6) 教育棟 1F 臨床講堂

参加費 会員 : 1000 円 非会員 : 2000 円 (当日入会された場合は 1000 円)

認定単位 日本核医学技術学会専門技術者 5 点 日本核医学専門技師認定機構 10 点

◇◇◇ プログラム ◇◇◇

14:30 受付開始

15:00 ~ 15:05 開会の言葉

東邦大学医療センター大橋病院 濱崎 千裕 先生

15:05 ~ 15:35

司会 : 東邦大学医療センター大森病院 立木 一博 先生

◆ 話題提供 ◆

東芝メディカルシステムズ株式会社 福留 宏征 先生

GE ヘルスケア・ジャパン株式会社 三宅 泰士 先生

シーメンスヘルスケア株式会社 佐藤 伸一 先生

15:35 ~ 15:45 関連学会、研究会からのお知らせ

15:45 ~ 16:45

司会 : 群馬大学医学部附属病院 嶋田 博孝 先生

◆ 技術講演 ◆

「 SPECT 撮像の標準化に関するガイドライン 」

国際医療福祉大学 三輪 建太 先生

虎の門病院 森 一晃 先生

16:45 ~ 17:00 関連学会、研究会からのお知らせ → 休憩

17:00 ~ 18:00

司会 : 帝京大学医学部附属病院 近松 孝 先生

◆ 特別講演 ◆

「 RI 内用療法を考える 」

東京女子医科大学附属病院 阿部 光一郎 先生

18:00 ~ 18:05 閉会の言葉

東邦大学医療センター大森病院 立木 一博 先生

主催 日本核医学技術学会 関東地方会

※ 閉会后、情報交換会を行います。当日ご案内致します。